

未来へつなぐ 事業承継 支援事例



M&A
(第三者承継
事業譲渡)

漢方一筋75年の灯を継承 世代を超えて、次の時代へ

譲渡側
(売手)

尙天心堂薬局

住 所：福岡市中央区大名1-15-7
設 立：1950年
資本金：1,000万円
従業員：5名

譲受側
(買手)

ここらボ(株)

住 所：大野城市瑞穂町4-6-19
設 立：2016年
資本金：300万円
従業員：10名

譲渡側



尙天心堂薬局
小栗 延子さん
前代表取締役

私の代で店を畳むことは、実に忍び難いことでした。長年ご愛顧いただいたお客様にご迷惑をおかけすること、漢方の知識が途絶えること、貴重な漢方薬を処分することなど、どれもあってはならない、という強い思いがありました。この度「承継」というかたちでつなげていただくことができ、何よりの喜びです。

譲受側



ここらボ(株)
金澤 宏樹さん
代表取締役

これまで3代・75年にわたり築いてこられた信頼と知識は、何にも代えがたい財産です。これをしっかりと受け継ぎ、2050年の創業100年に向けて、体調に悩まれているお客様に、漢方が持つ本来の価値を丁寧にお届けしていきたいと考えています。

支援者



福岡県事業承継・
引継ぎ支援センター
澤山 満穂
サブマネージャー

患者さん一人ひとりの悩みに寄り添いながら、75年にわたり地域に根ざして歩んできた薬局の歴史を、次につなぐお手伝いができたことを大変意義深く感じています。その大切な想いと価値が、今後も受け継がれていくことを心より願っています。



お問い合わせ

福岡県事業承継・引継ぎ支援センター
福岡市博多区博多駅前2-9-28・8階
TEL：092-441-6922



2025年3月頃



そろそろ
事業承継を…

変わる天神、想定外のタイムリミット

尙天心堂薬局は、昭和25年創業の漢方専門薬局です。代表の小栗さんは、薬剤師として患者様一人ひとりの悩みや体調に寄り添い、最適な漢方薬を届けてきました。因幡町商店街(当時)での創業後、天神ビルへ移転し、長年にわたり天神で営業してきました。

しかし、天神ビッグバンの進展により天神ビルからの移転を余儀なくされ、さらに移転先ビルでも再開発計画が浮上。2025年12月末での退去が決定しました。

また、小栗さんは84歳を迎えていたことから、廃業を視野に入れつつも、まずは事業存続の可能性を模索したいと、事業承継・引継ぎ支援センターへいらっしゃいました。

2025年5月上旬



センターに
相談

期限が迫る、決断の半年

退去まで残り半年という短期間で、後継者の選定から承継判断、契約手続き、さらに移転先の確保までを決断・実行する必要があり、時間的制約が最大の課題でした。

そのような状況のなか、センターが情報提供のために配信しているメルマガをきっかけに、ここらボ(株)金澤社長から問い合わせがあり、速やかに面談を実施。両者の想いが一致し、協議は順調に進展しました。

しかしその矢先、小栗さんが圧迫骨折により入院。承継手続きが停滞する事態に直面しました。このままでは期限内の契約締結が難しいと判断し、やむを得ず入院先で面談を行うなど柔軟に対応し、何とか基本合意書の締結に至りました。

2025年9月18日



基本合意書
締結

その後、通常数ヶ月かけるデューデリジェンス(買収監査)を2週間程度の短期間で実施する方針は決まりましたが、次の大きな課題は新店舗の確保でした。金澤社長は長年営業してきた天神エリアでの継続を希望していましたが、天神ビッグバンの影響による賃料高騰や薬局特有の許認可要件が障壁となり、物件探しは難航。

本来M&Aは、事業承継契約、不動産契約、内装工事と段階的に手続きを進めますが、今回はこれらを同時並行で行いました。小栗さんと金澤社長の協力もあり、一連の手続きを滞りなく終えることができ、期間内の円滑な承継の実現に至りました。

2025年11月28日



事業譲渡契約
締結

創業100年へ、大名で始まる新たな一歩

2026年1月、天心堂薬局の屋号はそのままだ場所に大名に移転し、新店舗をオープンしました。対面での丁寧な漢方相談という強みを守りつつ、ここらボ(株)が有するEC事業のノウハウを融合。オンラインでの漢方相談・販売、在庫・顧客管理のデータ化にも着手しています。

体制面では、新たに薬剤師3名を採用。小栗さんと長年お店を支えてこられた薬剤師と登録販売者も合わせて、7名体制で歩みを進めています。創業から75年間積み上げてきた知見と信頼を次世代に引き継ぎながら、創業100年に向けた歩みが始まっています。

